様式３(2010.09改)

作成日　平成27　年　2　月17　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390600050
事業所名	グループホーム正木の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	地域行事に参加している。毎年6月の第1土曜に行なわれるクリーンキャンペーンでは、正木公園の掃除に利用者も参加している。近所の店を利用し顔なじみとなっている。避難訓練では、地域の協力を得て利用者を避難場所へ誘導している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	いきいき支援センター職員、町内会長、庄バ王団長、地域住民、家族の出席がある。出席者からは、ホームの夏祭りを表通りに面した駐車場スペースを利用してはどうか等意見をいただいている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	市の担当課へ電話して利用者に関する事で、相談や助言を貰うことはある。いきいき支援センターとは連携を取っており、いきいき支援センターが開く「認知症おしゃべりカフェ」をホームのパブリックスペースで開催した。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	家族会があり、ホームの夏祭りやクリスマス会に参加してもらっている。利用者や家族からの意見や要望は、みんなで話し合い、改善等対応に努めている。ホーム便り「正木の家新聞」を年に4回発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	―	―	―	○	○	○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。